

世界遺産へ向けて

i 文化庁審査結果発表 ～2度目の挑戦も～

勝山市では、白山を取り巻く3県（福井、石川、岐阜）5市（大野、白山、小松、郡上、高山）1村（白川）と共同で、平泉寺を含む白山麓の歴史遺産を国内の世界遺産候補



（暫定リスト）として提案していました。9月26日に文化庁からその審査結果が発表され、残念ながら国内暫定リスト入りはなりませんでしたが、今回の審査でも前回同様世界に誇れる資産の証明が不十分といった課題が示されましたが、国史跡平泉寺を高く評価する専門家の意見もありました。今後も関係自治体と協議し、世界遺産登録への取り組みを継続したいと考えています。



発掘現場通信 ～調査のポイント～

今回は今年の4月から8月にかけて行いました、市営駐車場北側の市道拡幅に伴う調査について報告させていただきます。

ここは古くは平泉寺保育園や、龍池小学校のあった場所で、その東端には総合整備でガイダンス施設を建設する予定です。

南側の斜面を発掘すると、江戸時代から明治、大正、昭和にかけての石垣や水路などが発見されました。

残念ながら平泉寺最盛期中世の遺構や遺物は発見されませんでした。平泉寺地区の中心部の変遷を知ることができました。

現在、市では道路拡幅の早期の完成を目指して、急ピッチで工事を進めています。



桶を利用した水溜めと思われる遺構

次号では西蓮院水路改修地の発掘情報をお届けする予定です。

ii.美濃馬場&郡上市シンポを満喫 ～連携自治体訪問バスツアー第1弾～

9月28日に岐阜県郡上市で開催された白山文化シンポジウムに合わせ、美濃馬場（岐阜県側の白山登拝口）の長滝白山神社探訪とシンポジウムを聴講するバスツアーを実施しました。このツアーは、世界遺産登録推進で連携する自治体をより知っていただくために、初めて企画したものです。当日は31名の参加者の方が美濃馬場の歴史や白山文化を満喫されました。

iii.加賀馬場&白山市フォーラム バスツアー参加者募集中 ～連携自治体訪問バスツアー第2弾～

史蹟整備課では、石川県白山市で開催される白山文化フォーラムに合わせ、加賀馬場の白山比咩神社等を探訪するバスツアー参加者を募集しています。

開催日	平成20年11月30日（日）
集合	8:50（市役所駐車場）
行程	10:00～ フォーラム聴講 12:40～ 白山ろく民俗資料館見学 14:50～ 白山比咩神社見学 17:30 終了
参加費	550円（見学地入館料）
その他	昼食をご持参ください
申込先	史蹟整備課 電話88-8113

ほっぷと 平泉寺ごぼれ話

～第1話～

平泉寺六千坊（六千軒の僧侶の住居）はホントなの？

平泉寺には六千もの僧坊があったと伝えられていますが、測量調査などによると実際には1/10の約六百坊が存在したと考えられます。当時の記録には10～100倍も過大に記載することはよくあることです。

しかし、六百坊としても、1坊に10人が暮らしていたと仮定すると、約六千人もの人たちが住んでいたこととなります。最盛期（中世）の平泉寺は越前（福井県）を代表する巨大都市だったと言えるのです。

国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

創刊号（2008年10月号）

【発行】
勝山市教育委員会史蹟整備課
【発行日】
平成20年10月23日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電話:0779-88-8113(直通)
メール:shiseki@city.katsuyama.fukui.jp

いよいよ総合整備始まる!! (②、③面に特集記事)

「平泉寺かわら版」創刊

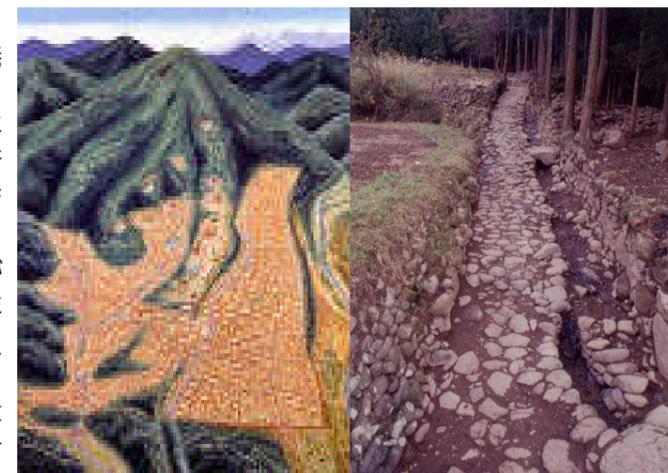
～史蹟整備等の情報をみなさまへ～

この度、平泉寺の「かわら版」を発行することとなりました。

この「かわら版」は、国史跡白山平泉寺旧境内の発掘や整備に関する最新情報をみなさまにお届けするものです。

特に今年度は、平泉寺の発掘調査が始まってから20周年という節目の年であり、また、本格的な史蹟整備のスタートの年にもあたります。

今後、史蹟整備に関連した様々な事業が平泉寺区において進んでいきますので、その情報についてもいち早くみなさまにお伝えしていく予定です。



平泉寺シンポジウム2008 ～「山の寺」研究の最先端～

10月4日に、平泉寺シンポジウム2008が教育会館で開催されました。

このシンポジウムは、昨年からの2年間をかけて平泉寺に関する地名調査を行っている仁木宏氏（大阪市立大学准教授）の研究会が主催し、日本を代表する中世史研究者の小野正敏氏（国立歴史民俗博物館副館長）と坂井秀弥氏（文化庁記念物課主任調査官）にもご参加いただきました。

基調講演で、小野氏は中世平泉寺の商業空間の解明の重要性を、坂井氏は平泉寺のすばらしい点は、区民の方が史跡を守り伝えていることと話されていました。また、シンポジウムには山岸市長も参加し、活発な議論が交わされました。

仁木氏は、平泉寺は遺跡の規模・内容ともに全国トップクラスであるとし、今後の整備や活用面でもトップランナーを目指してほしいと話されました。

今号の内容

- ◎ 「平泉寺かわら版」創刊 ①
- ◎ 平泉寺シンポジウム2008 ①
- ◎ 平泉寺総合整備の全貌 ②、③
- ◎ 世界遺産へ向けて ④
- ◎ 発掘現場通信 ④

平泉寺総合整備の全貌 ～5年間で6億円の大プロジェクト～

今年度から5カ年計画で文化庁最大の「史跡等総合整備活用推進事業」の採択を受け、史跡平泉寺の総合整備を開始しました。

平泉寺総合整備スケジュール

	H20	H21	H22	H23	H24
① 歴史的建造物の復元	→				
② 西蓮院跡園地整備	→				
③ ガイダンス施設建設		→			
④ 南谷発掘地の整備		→			
⑤ 史跡エントランス整備	→				
トイレ等整備				→	
説明板等整備				→	

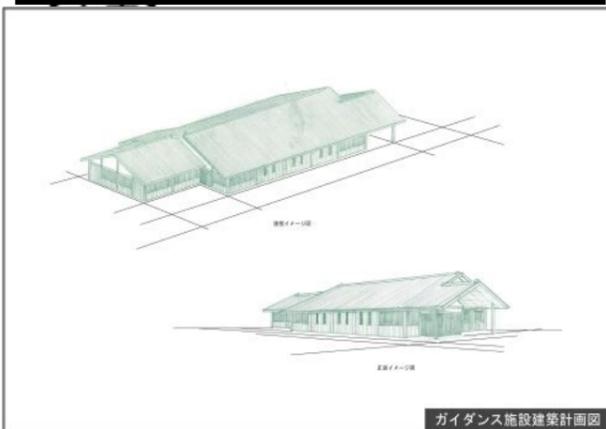
⑤ 史跡エントランス整備

菩提林の入口を史跡散策のための起点として造成整備します。



③ ガイダンス施設

三三博物館といった平泉寺案内の中心施設です。遺物展示や映像コーナーも計画しています。



この事業は6億円（補助対象経費5億5千万円、その内、国と県による補助額は約3億6千万円）をかけ、総合案内（ガイダンス）施設建設、南谷発掘地での僧坊の門等の復元や園地整備を行います。今後、この「かわら版」において各事業の詳細をお伝えいたします。

② 西蓮院跡園地整備
豪雨時に多量の雨水が、地区内に流れ込むのを防ぐ園地整備を行います。

④ 南谷発掘地の整備
H16年から18年までの発掘調査地を芝生広場等に整備します。

① 歴史的建造物の復元
僧坊区画に中世当時の門や土塀を復元します。

国史跡 白山平泉寺旧境内 事業位置図